

論文 / 著書情報
Article / Book Information

論題	第3回ホットフライングディスク大会を開催して—酸素運搬ロボットを用いた大会運営—
著者	鎚木武, 大平峰子, 小谷素子, 遠藤玄, 入部正継, 田窪敏夫, 石川朗
出典	第23回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会プログラム・抄録集, , , C1-017
発行日	2013, 10
Note	このファイルは著者（最終）版です。

第3回ホットフライングディスク大会を開催して—酸素運搬ロボットを用いた大会運営—

長野市民病院リハビリテーション科¹⁾, 東長野病院²⁾, 小谷医院³⁾, 東京工業大学⁴⁾, 大阪電気通信大学⁵⁾, 東京女子医科大学⁶⁾, 神戸大学大学院⁷⁾, 北信ながいき呼吸体操研究会⁸⁾, 北信フライングディスククラブ⁹⁾

○鍋木 武^{1,8,9)}, 大平峰子^{2,8,9)}, 小谷素子^{3,8,9)}, 遠藤 玄⁴⁾, 入部正継⁵⁾, 田窪敏夫⁶⁾, 石川朗^{7,8)}

【目的】我々は、HOT 患者を対象としたフライングデスク (FD) 大会を毎年開催し、3 回目となる。今回は、酸素運搬ロボットが酸素ボンベの運搬を担当し、大会を開催したのでその模様を報告する。FD 競技とは直径約 91.5cm の円形ゴールに、5 または 7m 離れたところからディスクを 10 枚投げ、ゴールを通過した回数を競う。

【対象】HOT 実施中の 18 名（男性 14 名、女性 4 名）平均年齢 75.2±4.7 歳、疾患の内訳は COPD9 名、肺結核後遺症 5 名、その他 4 名。

【方法】北信 FD クラブが主催し参加者を募り、当日の運営は、ボランティアスタッフ 18 名、酸素運搬ロボットスタッフ 9 名が担当した。県内外から医療関係者の来賓 6 名を招き、開会式、ながいき呼吸体操、FD 競技を 2 回実施、その後来賓、家族も競技に参加し、表彰・閉会式を行い、約 2 時間の大会を開催した。

【考察】我々はこれからも、FD をはじめとして酸素運搬ロボットなど、HOT 患者さんに有意義と考えられることに積極的に取り組み、QOL 向上に繋がることを発信していくために FD 大会を継続していきたい。